

伊賀ベジタブルファーム株式会社

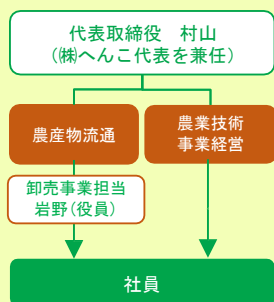
法人名	伊賀ベジタブルファーム株式会社
代表者名	代表取締役 村山 邦彦
主な経営作物	各種野菜(有機栽培)
その他事業	農業に関わるコンサルティング・教育、 農業技術の研究開発 等
従業員数	6名(関連会社含むうちパート4名) (2022年11月)
関連会社	株式会社へんこ(産地農産物卸売)
売上	744万円(2022年4月決算) 連結売上3,369万円(2021年)

有機野菜	多品目(野菜)	生産～流通の機能統合	若手が活躍する現場
農食総合コンサルティング	独立・起業を応援	ベンチャー起業風土	テック人材歓迎

有機栽培を中心とした野菜の生産・販売を行っています。産地物流を担う関連企業のへんことともに、戦略的パートナーでもある取引先(卸売・小売・飲食店など)と連携、食のバリューチェーン構築を目指します。国内外の産地形成をサポート、生産技術・流通に関わるコンサルティング～システム開発にも取り組んでいます。

人材育成目標

指導体系図



■ ……研修可能な分野

3年後の到達目標

- 社会における農と食の産業の現状と課題を正確に把握し、その解決につながる事業を企画～提案～実行していく意欲と実力を兼ね備えた人材。

求める基礎的な素質

【求める人物像】

- 積極的に経営に携わる意識を持っている(単なる作業者ではなくパートナーとして参画)
- 社会を良くする・世の中を変えるという前向きな意志と明確な「自分軸」を持っている
- 自分の仕事に誇りを持てる「専門性」や「強み」を持っている/持とうとしている
(例: WEB・データベースエンジニア、クリエイティブ、料理人、イベント企画運営等など)

経営者・経営陣の考え

【会社の特徴】

伊賀ベジタブルファームは、人と人、人と自然の「関係のあり方」を大切にし、多種多様な「いのち」が共存できる社会を目指しています。地域社会に根ざすオーガニック農産物の生産・流通に取り組みながら、上流から下流まで、食に関わる産業全体のデザインを意識しています。伊賀ベジの日々の業務には「部活」のような雰囲気が漂っています。ひとりひとりが実現したいことをひたむきに追及し、成長し続けることがそのまま会社のエネルギー、事業の推進力になります。会社そのものが「生命体」のように、常に変化し続け、未来を切り拓いていくのです。

【採用後に求めるもの】

周囲の状況を的確に把握し、指示を待たず、自分の頭で考え、行動することを重視します。

自分の意志や求めるものを明確に表現するスキルも磨いていってもらいます。

生産現場を大切にしながらも、必ずしも「農業」という枠に囚われず、社会の食の在り方を改善・革新していく力をつけていってください。

インターンシッププログラム フロー

コース特徴	指導体制	継続雇用の有無
農・食を通じて社会変革を進めていく意欲を持つ人が対象。 生産や流通の現場～プロジェクト運営まで本人のプランに応じて柔軟に対応していく。	担当者：村山（代表取締役 CEO） 岩野（流通事業担当 取締役 COO）	有

自らの力で育つ！！ 成長を支える環境づくりを目指します

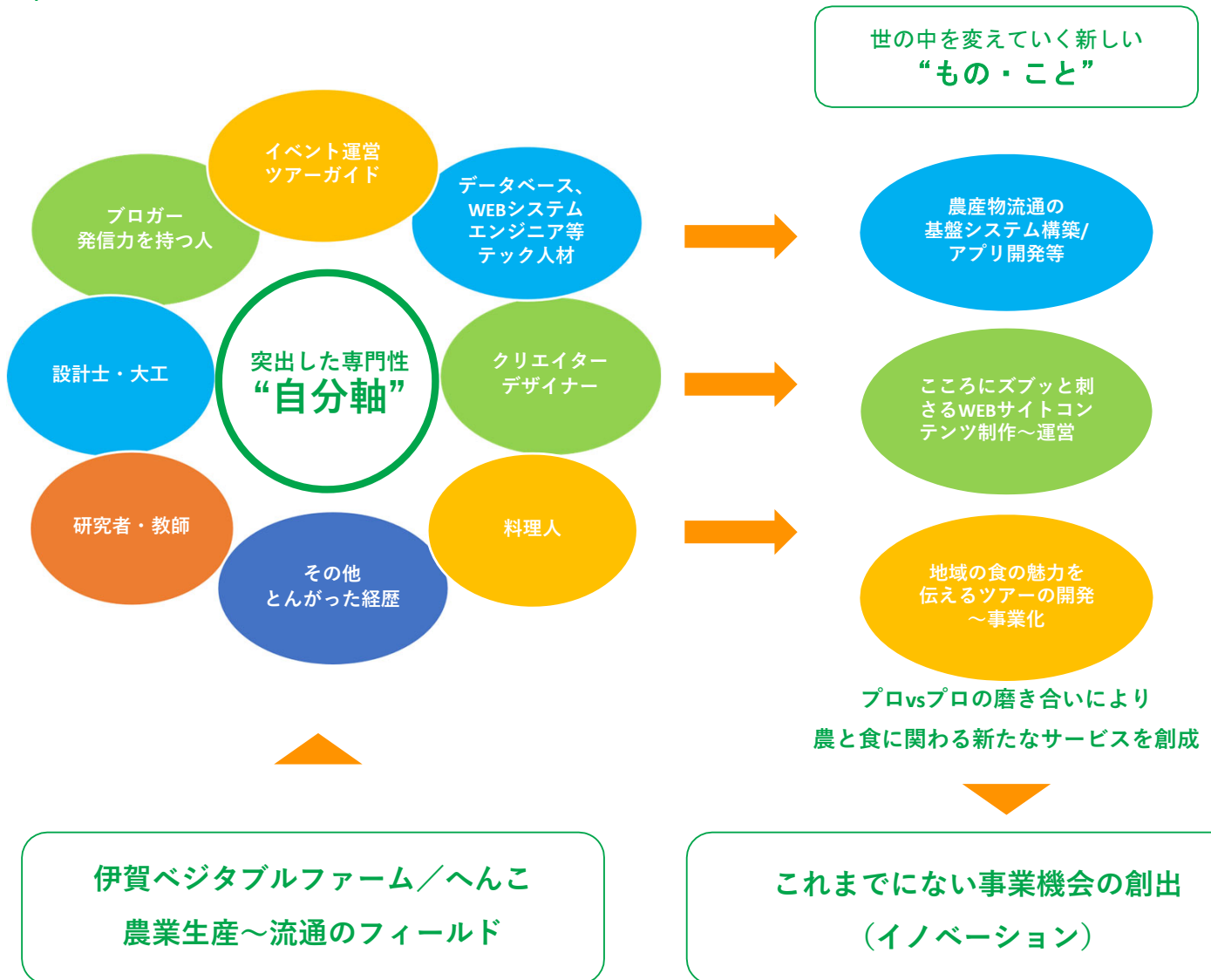
5年後の
到達目標



農と食の課題を解決する
イノベータータイプな人

人材像（ペルソナ）とゴールイメージ

| インターンシップ参加人材のイメージ



インターンシッププログラム フロー

1年目

2年目

3年目

目指す習得スキル

川上～川下までを通観して農～食の産業の現状と課題を把握し、
課題を解決する事業を展開していくための諸スキル（栽培技術／DB構築／業務改善／WEB制作など）

（農業現場の基礎知識）

- ・ 植物生理や肥培管理等の十分な理解
- ・ 農場マネージメント・オペレーションを理解

（経営等）

- ・ 課題解決～プロジェクト企画・運営
- ・ 経営戦略～財務管理～組織マネジメントなど

入社時

1年目

2年目

3年目

自己成長プログラム策定

自らが目指す事業プランを策定しプレゼン
そのための育成プログラムを経営陣と検討

相談に応じてOJT業務内容は変化

その他OJTなど

- ・ 食・農業に関する課題抽出～企画提案を行ってもらい、独自プロジェクト運営を担当
- ・ 流通事業の現場で営業～受発注～小分～配送などの実務についても学ぶ／スキルによっては業務システム開発などにも関わる

経営戦略、財務管理、作付～販売管理、組織マネジメントなどを順次学んでいく
※力量や希望に応じて内容を検討

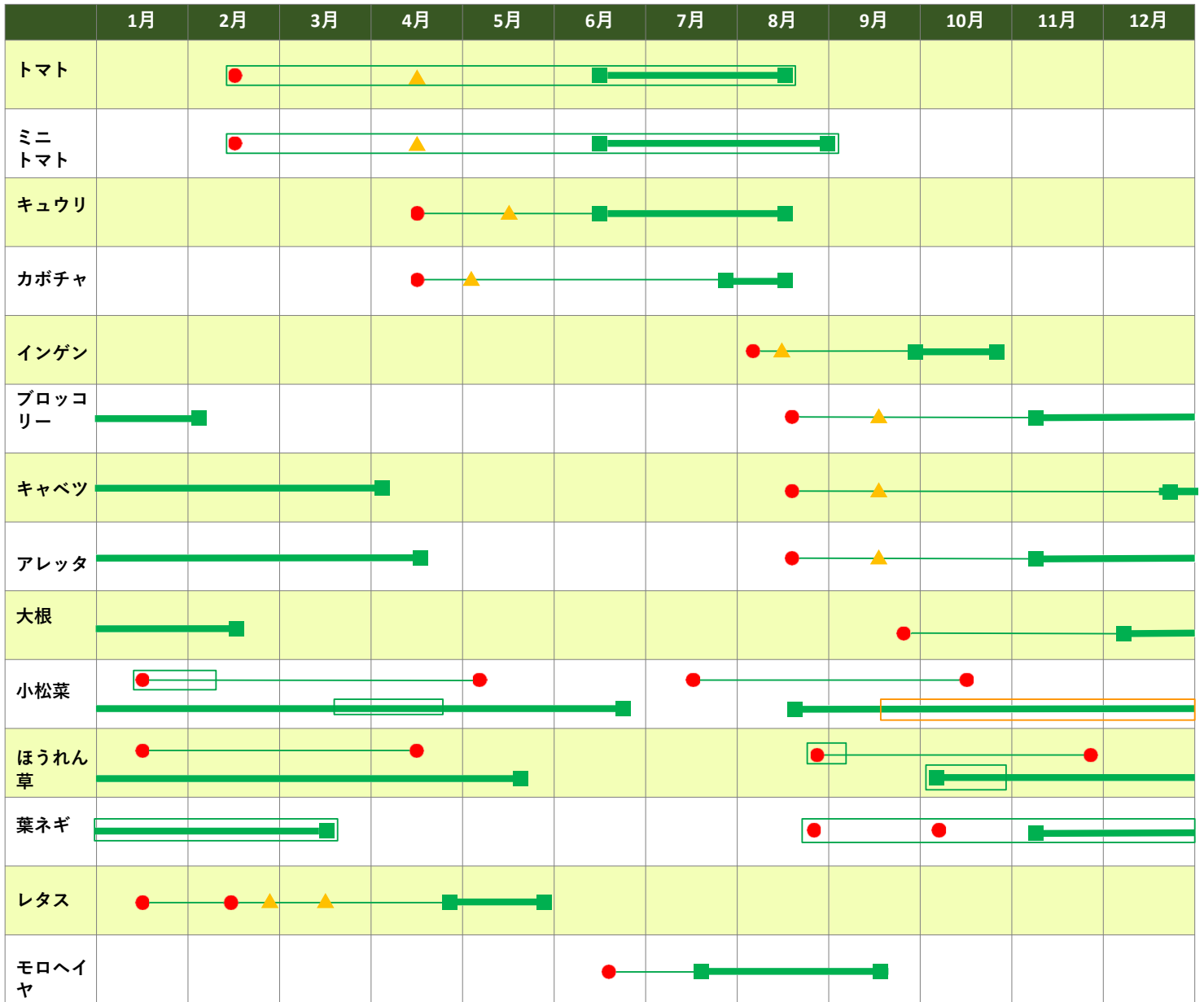
農場でのOJT

- ・ 先輩らとともに現場実作業
圃場実務について学ぶため、半年程度は作業補助として計画・栽培管理・出荷などに携わる
- ・ 入社後半年程度から担当作物を決定
前任者の栽培記録などを元に、自ら生産計画・工程管理・出荷調整など一貫管理、担当作物収支を評価

(補足) 法人における年間・日々の営農スケジュールイメージ

伊賀ベジタブルファーム 年間栽培スケジュール例

凡例 ● 播種 ▲ 定植 ■ 収穫
 □ ハウス栽培 □ 一部ハウス栽培



その他定期的な業務/不定期なスケジュール

定例業務等		不定期業務
<ul style="list-style-type: none"> 全体での朝礼・業務打ち合せ（毎朝） 生産計画・栽培進捗に関する会議（隔週） 	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略会議（月1回） 昼食当番有（自社食材などを利用） 	<ul style="list-style-type: none"> イベント企画運営 コンサルティング案件